

国語に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析

- ◇「書くこと」に係る出題において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることについて、よくできている。
- ◇「情報の扱い方に関する事項」に係る出題において、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
- ◆「読むこと」に係る出題において、文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することや、目的に応じて必要な情報を要約することについて課題がある。

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

○表現の技法について理解するには、用いられている語句や表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えることが重要である。表現が工夫されている詩歌を取り上げ、技法の特徴を名称と結び付け、その知識を使えるように指導したり、同じ技法が使われている作品を比較して、効果の共通点や相違点を検討するなど、具体的な表現と結び付けたりしながら個々の技法について理解を深めることが効果的である。

情報の扱いに関する事項

○意見と根拠など情報と情報との関係を理解するには、原因と結果、意見と根拠など、話や文章に含まれている情報と情報との関係について理解することが重要である。その際、意見とそれを支える根拠がどのように結びついているかを捉えたり、整理したりすることができるように指導することが大切である。

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと

○話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて自分の考えをまとめるには、目指している到達点を常に意識し、互いの発言を結び付けられるようにすることが重要である。自分と他者、他者同士の発言を結び付け自分の考えをまとめ、自分の考えの基になった発言や話し合いの内容を整理して述べるように指導することが大切である。

書くこと

○自分の伝えたいことが伝わるように、表現の効果を考え工夫して書くには、用いた語句や表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを確かめながら、より効果的な語句や表現を選ぶことが重要である。自分が読み手に伝えたいことを明確にし、そのねらいに応じた表現の工夫ができているかを確かめることができるように指導することが大切である。

読むこと

○文章と図表などを結び付け、内容の理解に生かすには、図表などが示されていることによって何がどのように分かりやすくなるのか、筆者が図表などを用いた意図を考えるように指導することが有効である。また、目的に応じて必要な情報に着目して要約するには、目的に応じて必要な情報を適切に切り出してまとめられているか、自分の言葉を用いてまとめた部分と文章の内容に隔たりがないかなどを確認しながら適切さや正確さを意識して要約することができるように指導することが大切である。

